











マテリアリティに対するKPIと2022年度進捗

7つの分類と関連する主なSDGs	マテリアリティと説明	主な取り組み	KPI	2022年度末（2023年3月末）進捗状況	
事業活動に関するマテリアリティ	社会的に有用な製品の開発・提供 	革新的な製品（医薬品、食品）の開発 私たちは、医薬品をはじめとする、優れた製品を自社およびパートナーングにより開発し提供することで、世界の人の健康と医療の向上に貢献します。	創薬研究への取り組みと臨床開発プロジェクトの推進 研究開発パイプライン数および進捗状況 承認申請数・承認取得数	（国内）9テーマ うち、新発売：2製品、承認取得：1テーマ、承認申請中：2テーマ （海外導出）5テーマ うち、承認取得：1テーマ	
		ライセンス活動と海外展開の推進	パートナーングによる新薬の発売国数	6製品、61か国	
		ヘルスケア食品事業の展開	治療食・病態食の新製品上市数	TPP（Target Product Profile）に基づき検討中	
		科学技術への貢献 私たちは、医薬品の研究活動から生まれる革新的な技術の特許化や論文文化、またアカデミア等とのオープンイノベーションなどを通じて、健康と福祉の向上に貢献します。	・アカデミア、製薬企業との共同研究 ・日本製薬工業協会が主催するコンソーシアム等への参画	オープンイノベーションの進捗状況	AMED主催の産学連携による次世代創薬AI開発（DAIIA）等への参加
		研究助成推進を目的とした神澤医学研究振興財団への寄附	研究助成金寄附の継続	公益財団法人神澤医学研究振興財団への寄附	
	高品質な製品の安定供給 	品質管理と安定供給/調達 私たちは、当社製品が生命関連製品であることを自覚し、最新の法令・規則およびガイドライン等を遵守して製造管理・品質管理体制を構築するとともに、環境に配慮した原材料を調達し、安定供給に努めます。	・「安定供給マニュアル」の策定・運用 ・新型コロナウイルス感染症対策 ・「キッセイ医薬品品質システム」の運用	製品別の適正在庫の確保	一部限定出荷品はあるものの、概ね適正在庫を確保
				マネジメントレビューの実施及び指示事項への対応	・上級経営陣によるマネジメントレビューの実施と結果のフィードバック ・品質イベント管理システム導入推進
				高品質な医薬品の安定供給のための体制構築状況 ・安定供給マニュアルの定期的な見直し ・安定生産のための継続的な設備投資 ・工場での階層別教育プログラムの実行 ・原料、製品別の定期的な調達リスク評価の実施	・安定供給マニュアルの定期的（毎年4月）な見直し実施 ・新薬の生産体制の構築、薬機法対応に係る設備投資および既存設備の定期メンテナンス等の実施 ・医薬品品質システム、GMP基礎、医薬品承認事項について、e-ラーニング等を用いた階層別研修の実施 ・世界情勢等を考慮した原材料、資材の定期的なリスク評価と対応実施
				製品回収 ・医薬品回収ゼロ件 ・食品クレーム発生率7.0ppm以下	・医薬品：0件 ・ヘルスケア：2.20ppm
	医療関係者、患者さんとのコミュニケーション 	製品（医薬品、食品）の適正使用の推進 当社製品がその価値を最大限に発揮するためには、適切な情報提供と適正使用が欠かせません。私たちは、科学的に裏付けられた情報を的確に提供します。	・適切な医薬情報提供活動の推進 ・AI-Detailを導入した製品数 ・「安全性情報提供システム」による安全性情報の即時提供	希少疾病治療薬の販売体制の構築	レアディーズプロジェクトの活動状況 ・レアディーズプロジェクトによる新薬（タブネオス、タリス）の医療機関への情報提供：500名以上 ・ANCA関連血管炎関連セミナーの開催：13回 ・患者さん向けANCA関連血管炎ホームページの機能強化
				科学的根拠に基づく適切な情報提供の推進（重大な不適正使用又は誤使用を誘発させる不適切な情報提供実施件数ゼロ件）	・販売情報提供活動GL監視事業における指摘事項なし ・モニタリング：1,595,044件 うち「重大な不適正使用又は誤使用を誘発させる不適切な情報提供実施」0件
				デジタルツールを活用した効率的/効果的な情報提供体制の構築状況	・AIディテール4製品、チャットボット5製品対応 ・メールディテールの導入による医療関係者とのコミュニケーション強化 ・顧客支援システム活用による効果的な情報提供体制の推進 ・診療サポートコンテンツ更新（70コンテンツ） ・医療関係者ページの会員向けサービス強化 ・安全性情報提供システムWEBコンテンツ構築中
くすり相談窓口の運営				患者さんの立場に立った情報提供の実施 問い合わせ対応：365件	
顧客満足度の向上、患者さん支援 私たちは、医療関係者および患者さんにとって真に必要なソリューションを提供することにより、医療に貢献します。	患者さん向け情報サイトの運営	患者さんの立場に立ったウェブサイト制作状況	・既存の患者さん向けサイトの充実：36コンテンツ追加 ・一般・患者さん・ご家族の皆さま向けウェブサイト『患者さんのためのANCA関連血管炎サイト』開設		

マテリアリティに対するKPIと2022年度進捗

7つの分類と関連する主なSDGs	マテリアリティと説明	主な取り組み	KPI	2022年度末（2023年3月末）進捗状況	
ガバナンスの強化・充実 	ガバナンス体制の強化 私たちは、継続的な企業価値向上の実現のために、コーポレート・ガバナンスの充実を重要な経営課題と位置付け、社内外の変化に対し、迅速かつ機動的に対応できる経営体制を構築します。	「キッセイ薬品 コーポレート・ガバナンスに関する基本方針」の策定・運用 ・女性取締役の登用 ・社外取締役の増員 ・執行役員制度の導入	改訂コーポレートガバナンス・コードへの適切な対応状況 ステークホルダーとの対話や取締役会実効性評価を通じた取締役会の機能向上	改訂CGコードで求められる全ての原則について遵守（Comply） 取締役会実効性評価を実施し、その評価結果を、コーポレートガバナンス報告書にて開示 ・女性取締役：1名（全取締役12名のうち） ・社外取締役比率：1/3以上（全取締役12名のうち4名） ・執行役員制度の導入（2022年6月）	
	リスクマネジメント 私たちは、経営理念の実現、経営計画を達成する上で阻害要因となるリスクを適切に管理し、また、発生したリスクへの的確に対応することで、円滑な企業活動を推進します。	リスク管理体制の構築 災害対策、パンデミック対策（BCP：Business Continuity Planning）の整備、更新	リスク管理項目の適宜見直しと、適切な対策の検討・実施 事業継続マネジメント（BCM）/事業継続計画（BCP）の整備・運用	リスク管理委員会において、リスク項目（全313項目）の評価と見直しを行い、2023年2月開催の取締役会において、適正に運用されている旨の報告 事業継続マネジメント（BCM）基本方針の制定と推進体制の強化（2022年10月）	
	コンプライアンスの遵守 コンプライアンス重視の企業活動は、すべてのステークホルダーから信頼を得て企業が健全に発展していくための基本となります。私たちは、コンプライアンスを実践し、企業活動を行います。	コンプライアンス・プログラムの実践	コンプライアンス啓発教育の実施回数（各部門半期1回以上）	170部署において延べ1,214回実施	
		通報・相談制度「キッセイはっとライン」の運用	コンプライアンス・アンケート実施状況（回答率95%以上）	コンプライアンス実践状況アンケート実施（2022年8月） 回答率：95.6%	
		動物福祉に配慮した動物実験の実施	重大なコンプライアンス違反件数（0件）	0件	
			動物実験の実施に対する当社の取り組み状況	・第三者評価機関による認証（AAALAC International等）取得 ・動物実験委員会開催：延べ8回 ・動物実験委員会による自己点検：延べ4回 ・獣医学的管理チームによる施設内の全動物の一般状態観察：12回（月1回） ・研究所規則改訂検討：1件	
	働きがいのある職場づくり  	人材育成 私たちは、社員それぞれの個性を尊重し、個々の能力や適性に焦点を当てた多様な能力開発機会の提供を通じて、会社の発展、さらには社会に貢献できる人材の育成に取り組めます。	階層別研修・職能別教育の実施 自己啓発支援 能力・キャリア開発面接制度	階層別研修・職能別教育の実施状況 DX人材育成教育の実施状況 通信教育受講率 能力・キャリア開発面接制度の実施状況	【階層別研修】 ・新入社員研修：34名（2022年度4月入社） ・新任管理職研修：22名（2022年度7等級昇格者） ・監督職研修：34名（2022年度6等級昇格者） 【職能別研修】 ・研究本部人材育成プログラム：研究本部182名 ・グローバル人材育成のための医薬英語研修（選抜）：開発本部6名、信頼性保証本部14名 ・MR選抜育成教育：医薬営業本部10名 e-ラーニング受講者数：249名 52.80% 能力・キャリア開発面接：152名（2022年度昇格者等）
		ダイバーシティ（多様性）の推進とジェンダー平等 私たちは、さまざまな考え方や価値観をもった社員が相互に認め合い、刺激し合うことが企業にとってダイナミズムと創造性をもたらすとの認識のもと、多様な人材がそれぞれの能力を発揮できるように、雇用形態、就労形態、人事諸制度等の労働環境の整備に努めます。	次世代育成への取り組み（「ブラチナくるみん」の認定維持など）	女性社員の育児休業取得率（ブラチナくるみん認定基準75%以上/年） 男性社員の育児休業取得率（ブラチナくるみん認定基準30%以上/年）	100%（育児休業取得社員数：11名/子出生女性社員数：11名） 80.0%（育児休業取得社員数：34名/子出生男性社員数：42名）
			女性活躍推進への取り組み	男性社員の平均勤続年数に対する女性社員の平均勤続年数の割合（70%以上）	82.70%
			差別・ハラスメントの防止	ハラスメント防止研修の実施状況	以下の啓発教育を実施 「アンガーマネジメント」「ハラスメント防止のポイント」「セクシャルハラスメントー管理職基礎知識編ー」「職場の心理的安全性について」「労務管理の適正推進について」
障がい者雇用		障がい者雇用率（2.3%以上）	2.45%		
職場環境の充実 「働き方改革」や新型コロナウイルス感染症への対応など職場環境が大きく変わる中、私たちは、社員が高いモチベーションを持って仕事に取り組める環境を整備します。		・健康経営優良法人2023（大規模法人部門）認定取得 ・ワークライフバランスの推進	ストレスチェック実施率	93.90%	
		労働安全衛生、社員の健康維持への取り組み	メモリアル休暇取得率（100%/年）	98.40%	
			労働災害件数	2件（うち休業災害件数1件）	
環境への取り組み    		廃棄物の管理および資源循環 私たちは、環境汚染の防止・負荷の軽減、資源の有効活用等を推進して、持続可能な環境の保全に取り組めます。	環境マネジメントシステムの維持管理（ISO 14001の認証取得など） 環境保全活動の実施 グリーン商品の優先購入	ISO認証更新・維持状況 廃棄物の削減、再資源化率の向上、最終処分率向上（前年度比1%以上） グリーン商品の購入率の向上	・ISO 14001認証維持（適合判定） ・廃棄物量：前年同期比1.3%増加 ・再資源化率：90.9%（前年同期比3.5%向上） ・最終処分率：4.2%（前年同期比2.7%向上） 32.20%
		生物多様性への取り組み 私たちは、自社の企業活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮し、行動します。	「遺伝子組換え生物」を用いた研究および治験の適正管理	社内規程・手順書等に基づく適切な研究・治験の実施状況	・遺伝子組み換え実験安全委員会開催：2回 ・遺伝子組み換え生物等の治験安全委員会：該当なし ・違反事例及び事故発生：0件 ・新任担当者への教育・訓練を実施
	化学物質の適正管理		有害化学物質（PRTR対象物質等）の適正管理状況 水質管理基準に則した排水の継続	PRTR届出物質の移動・排出量：前年度比0.2トン削減 管理基準値からの逸脱なし	
	気候変動への対応 私たちは、日本のカーボンニュートラル宣言に則り、気候変動をリスク要因と認識した環境経営を推進することで、社会と企業の持続的な成長を目指します。	・CO2排出量削減の継続 ・省エネルギー推進、気候変動対策	CO2排出量削減 2030年度目標（2013年度比46%削減）（スコープ1+2） 再生可能エネルギー利用率 2030年度目標（全電力使用量の74%以上） 気候変動に対するリスクと機会の評価の推進	2022年度排出量：14,075トン（2013年度比24%削減） 2022年度実績：34% TCFD提言に準拠した開示	
		社会貢献活動への参加 私たちは、本来の企業活動を通じて、社会の持続的な発展に寄与します。また、社会構成員である企業市民として、積極的に社会貢献活動に参加し、経営理念の実現に取り組めます。	・文化芸術、スポーツへの貢献 ・児童福祉施設への寄付、自然災害に対する支援	社会貢献・地域貢献に資する協賛・寄付件数	31件：セイジ・オザワ松本フェスティバル等を含む文化芸術・スポーツへの協賛および児童養護施設等への地域・社会貢献に資する協賛、寄付など
			地域清掃活動への参加、工場・研究所見学の受け入れ	地域ごとの社会貢献活動状況	事業所周辺の清掃活動、地元学生との環境法務実習など